

1人親方の業務負担を楽にしたい +Biz受発注で 毎月の受領請求書の管理をスマートに

Y A T  U K A

島根県松江市にある株式会社八束電工様では5年以上前から受領請求書の電子化に取り組んできた。きっかけは1人親方からくる毎月の請求から支払いまでの支払サイトが短すぎることに。集計をもっと楽にできればという思いで導入したのが「+Biz受発注」だった。



——ウェブ上で発注・請求を行いたいと思ったきっかけや背景を教えてください

1人親方からくる請求書の処理が大変でした。毎月請求書を20日で締めて当月25日払いなので、集計するのにわずか5日間しかない。紙の処理だと支払に間に合わないことや、チェック漏れ、1人親方からの請求自体が遅れるケースもあり、これをできるだけ簡略化したいと思ったのが始まりです。

——「+Biz受発注」導入後はどのような改善がされましたか

課題に感じていた支払遅延や支払漏れなどはかなり減りました。1人親方の皆さんも請求書を作成することに手間を感じていたようなので、請求書を電子送付できるようになり、自社だけでなく1人親方をはじめとした協力会社の業務効率化ができました。

——「+Biz受発注」の感想はいかがでしょうか

画面周りがとても見やすく、使いやすいと感じます。特に1人親方はパソコンに対する苦手意識が強い人が多いので、

画面周りが見やすいのはとてもありがたいです。

——「+Biz受発注」の運用方法を教えてください

ほとんどは支払サイトの短い1人親方との請求で使用しています。取引量の多くない会社へは紙でやり取りするハイブリッド形式を取り入れています。

——1人親方をはじめとした協力会社の皆さんのスマホ普及率はどうでしょうか

パソコンで行う方もいますが、スマートフォンで操作される方もいます。割合としては半々くらいですね。現在+Biz受発注でやり取りしているのは20社ほどですが、9割が1人親方です。

——1人親方の年齢層はどれくらいですか

自社で抱えている1人親方の平均は40代後半です。上は60代以上、下は20代とバラバラです。でも、スマートフォンに慣れてる人が増えてきたので、こういったソリューションは導入メリットが大きいと思います。

——工事件数や発注件数を教えてください

月の発注数はおおよそ30～40枚ほどです。工事は年間2,000件程度、1年を超える工期の工事もありますが、1日だけの単発工事も多いです。1人親方へは1式でまとめて発注し、請求は都度または出来高で上げてもらっています。

——導入当時、協力会社の皆さんへはどのように普及されましたか

建設ドットウェブさんに指導をお願いしました。協力会社の皆さんには時間を作っていただき、オンラインで参加してもらいました。参加できなかった方へは動画で確認してもらいました。その後はわからないことがあれば当社へ問い合わせが来ます。

——協力会社の皆さんへの案内で苦労はありませんでしたか

わからないことがあればこちらへ問い合わせが来ますが、発注側と受領側では画面周りが少し違うので、相手の言っていることがわからず戸惑いもありました。

ただ、画面がシンプルなので1度説明すると理解してもらいやすいので、フォローも少なく済みます。

——ずばり、「+Biz受発注」を導入するメリットを教えてください

一番はやはり受領請求書を電子でやり取りできるようになったので、支払に余裕ができたことです。紙の請求書は手書きなことも多いので、間違いがありましたが、それが減ったことが大きいです。最近はスマートフォン利用者も増えたのでより使いやすいです。

——今後「+Biz受発注」に期待することはありますか

当社（発注側）はかなり使いやすくなりましたが、協力会社側の機能が充実するとともに良いと思います。具体的には協力会社側でも請求書のダウンロードができることや、請求一覧の合計額が表示されることです（2025年10月以降に対応予定）。また、+Biz受発注上で工事登録ができると担当者がもっと楽になるので今後期待しています。



株式会社八束電工 様

本社所在地：島根県松江市

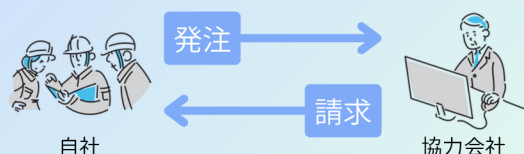
業種：電気設備工事

従業員数：43名

今回代表取締役大下浩樹様に取材ご協力いただきました。

+Biz 受発注 とは？

+Biz受発注とは企業間の発注、それに伴う請求を電子でやり取りするスマホソリューションです



年額：36,000円～

(50ユーザー単位)

※導入には別途「どっと原価3」と「発注管理オプション」が必須です